

教科教育課だより

～未来ある子供たちのために For Our Children～

第25号 R元.9.25

茨城県教育研修センター
教科教育課
☎0296-78-3213 (直通)



「これからの図画工作・美術科研修講座」を実施しました。

令和元年7月30日:第1日(小中高特共通)茨城県近代美術館

講義「学習指導要領改訂における図画工作・美術科の授業改善の視点」
国立大学法人東京学芸大学准教授 西村 德行 先生



どういった栄養素で摂るか?

どういった資質・能力を育てるか?

炭水化物

知識及び技能

たんぱく質

思考力、判断力、表現力等

脂質

学びに向かう力、人間性等

～「領域」ではなく、「資質・能力」で考える～

新学習指導要領のポイントや生活の中の造形的な視点、美術館における鑑賞教育などについてご講義いただきました。健康のために食の種類ではなく栄養素のバランスを考えるように、図工・美術では、どの領域(造形遊び、絵、立体など)に取り組むかではなく、どのような資質・能力を育てるかという視点で考えていくことが大切であるとお話をいただきました。

<生活の中の造形と授業をつなげた鑑賞例>

- 色ハンター(身の回りの○色を探そう)
- 思いキャッチ(文字の造形物から鑑賞)
- 持ち物美術館(お気に入りの持ち物紹介)



～研修センターで色ハンター!～

受講した先生方は、身の回りや学校にどんな色がありましたか?

<西村先生の講義資料(抜粋)>

講義・演習

「美術館と連携した鑑賞の授業づくり」 茨城県近代美術館学芸主事

<子供の心に耳を傾ける美術鑑賞法>

「ビジュアル・シンキング・ストラテジーズ」根拠や探究を促す問いかけをすることにより、話し合い、様々な解釈の可能性について考えます。常設展を使って、演習しました。

<アートカードを使った鑑賞法>

- なりきり名探偵
- 即興!お話づくり

アートカード借用等の情報はこちらへ

<茨城県近代美術館HP>



令和元年8月9日:第2日(小特)「表現と鑑賞を関連させた図画工作科の授業づくり」

題材名「自分いろいろみ」

- ①表現:自分いろいろみづくり
- ②鑑賞:いろいろパーショッポ開店
- ③表現:自分いろいろ物語
- ④鑑賞:いろいろ物語

技法(用具)

- ・マープリング(専用インク、水入れ)
- ・スタンピング(スポンジ、ローラー)
- ・スパッタリング(金網、ブラシ)
- ・パチック(クレヨン、絵の具)

「共通事項」を意識して鑑賞することで、様々な表現のよさを感じ取ることができます。

受講者の感想

基本的な技法はとても役立つので、校内研修などで伝達したいと思います。

学習課題

どのようにしたら、自分にしかつけれない「いろいろみ」をつくることができるでしょう?



本時のまとめ

色を組み合わせたり、様々な道具を使ったりして、自分だけの作品や表現ができる。

本時に身に付けさせたい力

令和元年8月19日:第2日(中高特)「表現と鑑賞を関連させた美術科の授業づくり」

学習課題

どのようにしたら、金屏風に自分の物語をより演出して表現できるでしょう?

題材名「物語を演出する金屏風」

- ①鑑賞:屏風の特徴や魅力を知る
- ②表現:主題設定、アイデアスケッチ
- ③表現:屏風の特徴や主題を踏まえて制作
- ④鑑賞:主題を表す表現の工夫の鑑賞



本時のまとめ

余白や空間の効果や、色彩の組合せなどによって主題に迫ることができる。

「共通事項」の視点

- ・形や色彩
- ・余白や空間の効果
- ・動静(動きを感じる表現)

最初に「共通事項」の視点を意識して鑑賞することで、表現にも視点が活かされます。

受講者の感想

他の美術の先生方がいて、アドバイスし合えるからこそ、集中して制作に取り組みました。

本時に身に付けさせたい力